平成30年度3年次編入学試験問題 総合問題(出題意図) <医学部看護学科>

- 問1:事例をとおして、看護の基礎となる病態生理の理解を問う問題である。
- 問2:臨床で遭遇する可能性の高い救急患者の事例をとおして、臨床所見と医 学診断に関する知識を問う問題である。
- 問3:臨床で遭遇する可能性の高い、内分泌に関する知識を問う問題である。
- 問4:看護実践において最もポピュラーに用いる基礎理論であるニード論について、正しく理解しているかを問う問題である。
- 問5:看護師が医師の指示の下で行う診療援助技術(浣腸)について、科学的 根拠に基づく正確な知識を持てているかを問う問題である。
- 問6:看護師が医師の指示の下で行う診療援助技術(胃管の挿入)について、 科学的根拠に基づく正確な知識を持てているかを問う問題である。
- 問7:看護師が自律して術後看護を実践するための基礎となる、手術侵襲を受けた患者の生体反応の理解を問う問題である。
- 問8:臨床で遭遇する可能性の高い急性心筋梗塞患者の臨床所見と基本的看護 に関する知識を問う問題である。
- 問9:臨床で遭遇する可能性の高い血液透析患者に関する臨床所見と基本的看 護に関する知識を問う問題である。
- 問 10: 昨今、しばしば社会問題となっている高齢者虐待について、法的根拠に 基づき正確に理解しているかを問う問題である。
- 問 11: 国民運動計画である「健やか親子 21」を推進する立場である看護職として、その内容を正確に理解しているかを問う問題である。